

平成27年度 村上市岩船郡理科部 活動報告

部長 馬場 晴也 (山辺里小)

1 研究主題

- (1) 日々の学習指導に活かせる指導力を高めるための研修を進める
- (2) 先進教育の実践者の指導法と理論を学ぶ

2 研究の概要

- 4月28日 部会 (総合文化会館)
- ・昨年度の事業内容の報告
 - ・平成27年度活動計画の作成
- 8月5日 研修会「夏の植物観察会」(要害山)
- ・講師 河内 花子 様 (理科センターと共催事業)
- 8月21日 「授業研修会」
- ・講師 筑波大学附属小学校副校長 森田和良 様
- (1) 発展問題を取り入れた模擬授業 (学年別)
- (2) 模擬授業一つ一つについてのご指導
- 11月19日 研修会「理科指導研究発表会」(岩船小学校・2年次)
- (1) 公開授業① 4学年「ものの温度と体積」 授業者 本間美佐子 教諭
- ・指導者 阿賀野市立京ヶ瀬小学校 校長 伊藤義人 様
- (2) 公開授業② 5学年「電流の働き」 授業者 小野澄江教諭 木村哲也教諭
- ・指導者 下越教育事務所学校支援2課 指導主事 中野國芳 様

3 研究の実際

①「夏の植物観察会」(要害山)

理科センターとの共催事業として要害山を会場に植物観察会を実施した。最高気温が30℃を超える大変暑い1日であった。10時に要害山登り口の駐車場に集合し、いわふね自然愛好会の河内花子様を講師に、登山道付近に見られる草本類、木本類、菌類などの観察を行った。

②「授業研修会」(理科センター)

講師に筑波大学附属小学校副校長 森田和良先生をお迎えし、授業をどのようにつくっていくか低・中・高別に分かれて研修を行った。グループ別研修の後、各グループの代表が模擬授業を行い、その後、森田先生から授業のポイントやより考えさせるための手立てについてご指導をいただいた。

③「理科指導研究発表会」(岩船小学校・2年次)

村上市立岩船小学校は、村上市岩船郡小学校教育研究会の指定を受け2年間理科学習指導授業研究に取り組む。今年度は研究指定2年目である。「問題意識をもち、主体的に学習に取り組む理科指導の工夫」～問題意識を高める工夫を通して～という研究主題・副題で行われた。研究全体会の後、二つの公開授業・協議会に参加し、研修した。

4 成果と課題

○活動を通して考えることが楽しいと感じる授業の在り方が見えてきつつある。児童が既習事項を基に結果を予想し、そのように考えた理由をしっかりとらせることが大切であることが分かった。

○活用課題を考えたり提示したりしていく中で、授業を行うことの大切さと楽しさを感じることができた。

●活用課題を児童に提示するためには、発展的に考える基礎となる事項が定着していることが必須条件である。また、実感を伴う理解が大前提となる。やはり、大変ではあるが実験を正確に行わせること、実験結果を適切に考察させることなど「基本」が改めて課題と感じた。